

## 令和4年度 『地域のつどい』 第2回 神北地区

○開催日:令和5年2月4日(土) ○会場:六角橋地域ケアプラザ ○参加:43名

第21期神奈川区民協議会「地域のつどい」の第二回が神北地区で開催されました。

神北地区は、東側に主要地方道である横浜上麻生道路が通り、また、東側から南側にかけて東急東横線が走っている地域で、神奈川区のほぼ中央に位置しています。神奈川区の中でも古くから栄えた商店街地域と、古い町並みが山坂の多い地帯に開けた住宅街地域とに分かれ、10の自治会町内会で構成されています。神奈川区の重点対策地区、いわゆる木密地域として指定されている地区も多く、防災・減災に対する住民意識は高く、日頃から地域一丸となった活動を積極的に推進されているところです。また、近隣にある神奈川大学の学生が居住している单身アパートも多くあり、それゆえ特有の課題を抱えている地区でもあります。

当日は笑いの絶えない中、真剣な討論も行われ、自分の住む町や地域を良くしようという思いが強いと感じられる時間を過ごすことができました。

当日出されたご意見の一部をご紹介します。

- ・ 消火栓蓋のカラーリングの進捗状況
- ・ 消防による消火栓チェック体制
- ・ 狭隘道路の多い地域特性に合わせた消防軽車両の導入
- ・ 防災スピーカーが聞こえない
- ・ 複数の町会で共同の防災倉庫を造る、あるいは借りる場合の行政の補助制度
- ・ AEDに適した設置場所の基準
- ・ 10戸以上のアパートでもごみ集積所をつくっていないところへの行政指導
- ・ ごみのリサイクル促進
- ・ 同じ通りであるにも関わらず町会が違いため回収時間が半日ほどずれることによる弊害
- ・ 詐欺等防犯の注意喚起
- ・ 交番の巡回回数
- ・ 町会への人口統計提供
- ・ 災害時要援護者名簿の改善
- ・ 犬の散歩に関する問題
- ・ 神大生に関する問題
- ・ 自転車に関する問題



など、様々なご意見をいただきました。防災防犯に対する意識が高いと感じられ、神奈川大学に関する問題は地域の特性を感じました。

神北地区の皆さま、ありがとうございました。